

# 隨泉寺寺報

平成19年(2007年) 7月号 7月2日発行 第443号

TEL 082-892-0217 <http://www.zuisenji.com/>

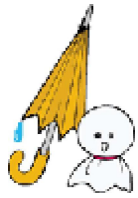
浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺



安居会法座

講師 ひとば作業所 寺尾文尚氏

講題 『知的障害のある人から学んだ人間学』



『露すがる 庭の玉笹うちなびき

ひとむら過ぎぬ 夕立の雲』(藤原公経・新古今265)

「雨露のついた庭の笹を揺らし、夕立雲がひとかたまり過ぎていった」

梅雨に入りましたが、あまり雨が降りません。田んぼも稲の成長には今、水が必要な時だと思いますが、十分ではないようです。田や畑を作らない人にとっては、雨はうるさいだけですが、今年は飲み水も不足が心配されています。

何年か前に人工的に雨を降らせるという実験がされたことがあります。ヨウ化銀を燃やして煙を雲の中に送り込むんです。そうすると雲の粒が雪だるま式に大きくなって、やがて雨粒になります。問題は人工的に雨を降らせるといっても、現実的には使用は無理です。なぜならば人間の都合がまちまちだからです。今日雨を降らせるといったら「今日だけはやめてくれ、運動会があるから」とか、「野球の試合があるから」という風に、自分の都合ばかり行って合意が出来ません。自然に降る分には文句が言えませんが、人が行うには都合があります。自分の勝手が出てくるのです。

## 7月の行事予定



- 7月 8日.....掃除 荒野
- 7月14日昼席午後1時より.....安居会法座 住職
- 7月15日朝席午前10時より.....若い婦人の集い 寺尾文尚氏 おとき バザー
- 7月15日昼席午後1時より.....安居会法座 寺尾文尚氏
- 7月28日昼席午後5時より.....ビアガーデン
- 8月 2日午後6時より.....門信徒会本部役員会
- 8月 3日~4日.....少年少女の集い

## ☆ビアガーデン 7月28日午後5時~

今年もビアガーデンを開催します。去年は80名参加してください、念願の100リットルを飲み干しました。今年は100名の参加を目標にしています。今年は空梅雨のようですが、蒸し暑さは例年以上です。ビールでも飲んで暑い夏を乗り切りましょう。普段お寺におまいりしていないので参加しづらいという人がいますが、そういう人こそお待ちしております。お酒に釣られてお寺に来てください。大歓迎です。また一品料理や野菜や果物があれば協力して下さい。



## ☆若い婦人の集い 7月15日(日)午前10時~

7月15日午前10時より若婦人研修会を開催します。子育てや、お仕事で、なかなかお寺に参るのも難しいことですが、暇を作ってご参加ください。今年の御講師はひとば作業所の寺尾文尚氏です。寺尾先生は似の島学園で障害を持った子供たちを教育に携わっておられましたが、ひとば作業所を作って知的障害のある人の社会参加を応援されています。今回は作業所で作られたパンや味噌、あるいは陶器なども販売されます。なお当日はバザーも企画されていますので、



ご協力下さい。

## ☆少年少女の集い 一泊研修会(小学4年~6年)

8月3日(金)~4日(土) ※時間変更 午前11時半より

例年の通り8月3日(金)~4日(土)と少年少女一泊研修会を開催いたします。先の募集要項では、8月3日午前9時よりの予定でしたが、3日が小学校が全校登校日という事で、日にちを変えて欲しいと言う要望が、多数ありましたが、日にちを変更というのは住職の都合で難しく時間の変更いたします。夏休みの2日間ですが、楽しい思い出が出来ればと思います。今年も出来るだけ楽しい企画を考えています。友達を誘ってたくさん参加してください。



## ☆少年少女の集い 一日研修会(小学1年~3年)

8月4日(土) 午前8時30分より

8月4日(土)少年少女の集い1日研修会を開催します。朝から昼過ぎまでの半日ですが4年生~6年生の人と一緒に楽しい一日が過ごせたらと考えています。

## ☆御礼

永代経懇志 金 拾萬円 佐々木 実殿 故 佐々木 良江様 特別永代経志として  
門信徒会へ 金 一封 佐々木 実殿 故 佐々木 良江様 香典返しとして

カメはウサギにはなれないが 日本一のカメにはなれる

私は、学校の先生になりたかったので、学校は、師範学校を選びました。

入学してみると、全員、何かの運動部に入部せよということでしたが、私を入れてくれる部は一つもありませんでした。私があまりにも不器用すぎたからでした。行き場のない私を憐れんで、マラソン部が、やっと、私の入部を許してくれました。



カメはウサギにはなれないが  
日本一のカメにはなれる

毎日の日課は、姫路の城北練兵場一周(五千メートル)でした。週に一日は、市川の鉄橋まで往復(一万メートル)しました。びりは私が毎日全部引き受けることになりました。

その一万メートルコースの途中には、女学校がありました。女学生たちの注目のなか、仲間から何百メートルも遅れ、犬にほえられながら走るの、ほんとうにみじめでした。

そのびりを、私は、二年になっても、三年になっても、四年になっても独占しました。何年たっても、私よりのろいのは一人も入部してくれなかったからでした。

私は、毎日、びりを足りながら「ウサギとカメ」の話を考えました。

カメがウサギに勝ったというが、カメはいくら努力してもウサギにはなれない。カメはカメだ。しかし、あの話は、値うちのあるカメは、つまらないウサギよりも、値うちが上だという話ではないか。カメはウサギにはなれないが、日本一のカメにはなれるという話ではないか。

とすると、ぼくは、びりからは逃れることができなくても、日本一のびりにはなれるはずだ、よし、日本一のびりになってやろう、そんなことを考えながら走りました。走っているうちに、また気がつきました。ぼくがびりを独占しているせいでほかの部員は全員、びりの悲しみを味わわずにすんでいる、ぼくも一つ役割を果たしている気がついたのです。

すると、にわかには世界中が明るくなり、愉快になってきました。そして、先生になったら、走れない子、泳げない子、勉強のできない子の悲しみのわかる先生になろう。そういう子が、よろこんで学校に来てくれるような先生になろうと、考え続けました。

私は、小・中・大学と、五十五年間、教師を務めさせてもらいましたが、この願いだけは忘れなかったつもりです。

### 参議院立候補予定者 藤谷光信氏を宗門特別推薦

本願寺では、今年七月に定されている参議院議選挙に立候補を予定している藤谷光信氏(山口県岩国市・教違寺前住職、前山口県会議員)を「宗門特別推薦」することを決めた。本願寺では「藤谷光信と国政を語る会」を組織して 本山内に中央事務局、全国の教務所等に連絡事務所を置き、「宗門特別推薦」を行ったことを周知して理解と協力を求めていく。



藤谷氏は、昭和三十五年龍谷大学文学部仏教史学科卒で三十七年から昨年七月まで同寺住職。この間、岩国南幼稚園を設置して理事長・園長などをつとめ、宗門の幼児教育(まことの保育)の活動に尽力している。五十年から岩国市議員、平成三年から今年三月まで山口県議員。龍谷大学在学中は劇団未踏座に在籍して卒業後、岩国演劇研究会劇団『のんた』、昭和六十三年には児童劇団『ゆりかご』を創設して代表になっている。70歳。

### なぜ、藤谷光信氏の「宗門特別推薦」なのか？

昨今の国政の場において、憲法や教育基本法の改正、自衛隊のイラク派遣に端を発する自衛隊法の改正、宗教法人を含む公益法人の制度改革など、宗門として看過することのできない諸問題が山積しております。これらの諸問題に対し、宗門として正確な情報を迅速に入手し、議論と提言を行っていくため、来るべき国政選挙において

「宗門特別推薦」を行い、宗門挙げて支援することといたしました。

この絵は、文部科学省が出している小学生用『こころのノート』の一部です。挨拶が大切だということを教える教材ですが、「いただきます」、「ごちそうさま」を言う時、「合掌」はいらなくなっています。合掌は仏教徒の作法で、政教分離を定めた憲法違反の恐れがあるということのようです。いま



公教育の場が、間違っただ一部の俗論にゆがめられています。その内容を正していくのは、常に、国の主人公である私たち国民ひとり一人の責任です。毎日の食事は、深くご恩を喜び、ありがたくいただくものでしょう。

藤谷光信氏は、大事な子どもや孫のため、適切な公教育推進のために「汗をかきます」と決意されています。